

中伊豆V 7年ぶり4回目

若獅子旗中学野球

大差で修善寺下す

鈴木 将「うれしい、自信ついた」

本紙主催



優勝旗やカップ、表彰状を受け取る中伊豆の選手代表＝伊豆市の修善寺グラウンド



二回表、先制のホームを踏む中伊豆の鈴木選手＝伊豆市の修善寺グラウンド

第33回若獅子旗争奪田方地区中学校野球大会（伊豆日日新聞主催、日刊イボツ新聞社、ナガセケンコー後援）は2日目の29日、決勝トーナメントを伊豆市の修善寺グラウンドで行った。決勝は中伊豆が9-1の五回コールドで修善寺を下し、7年ぶり4回目の優勝を果たした。初日に敗れた4チームによる3位決定戦も函南町の函南スポーツ公園で行った。

【関連3面】

【決勝戦・修善寺グラウンド】

中伊豆 00324019

修善寺 00000119
（五回コールド）
（中）川口遥 川口大

（修）星谷、野田竜一、野田真▽三塁打▽川口大、鈴木、川口遥、加藤（中）▽二塁打▽伊東、川口大（中）
準決勝は、修善寺が葦山を3-2、中伊豆が大仁を7-4で下し、決勝に駒を進めた。決勝戦は、二回表に中伊豆が四球を足掛かりに盗塁や安打、敵失で3点を先制した。三回にも2本の三塁打な

どで2点、四回にも長短打やスクイズなどで4点を追加し、試合を優位に進めた。中伊豆の川口遥投手の速球に苦戦した修善寺は五回裏、四球や敵失で1点を返し意地を見せたが、力尽きた。

中伊豆の岩脇祐樹監督は「練習してきたスイングができ、強い打球が打てた。投手も苦しみながら抑えた。2年生の成長も感じられた」と評価。鈴木愛翔主将（3年）は「うれしい、自信がついた。全員で声を出せたのが良かった。この調子で中体連も頑張りたい」と喜びを語った。

準決勝で敗れた2チームと、3位決定戦を制した函南東の計3チームが3位になった。決勝戦を除く結果は次の通り。

【準決勝・修善寺グラウンド】

葦山 00020002

修善寺 010010X3

（垂）佐藤 三原（修）

石井 野田竜▽三塁打

石井（修）

中伊豆 1202010027

大仁 1010200047

（中）鈴木 川口大（大）

日向、富岡 一原▽三塁

打▽川口大、鈴木（中）

▽二塁打▽梶山（大）

川口大（中）